

(報道提供資料)

堺市政記者クラブ

大阪科学・大学記者クラブ 様

問い合わせ先

公立大学法人 大阪府立大学		
大学院理学系研究科 宇宙物理学研究室		
担当	大西利和	072-254-9727
	小川英夫	072-254-9726

## 大阪府立大学 七夕講演会、観望会

大阪府立大学では、七夕にあわせて、下記のとおり講演会「南極から探る宇宙」、「最新の観測で探る惑星大気のすがた」および天体観望会を実施いたします。つきましては、多くの方にご参加いただけますよう、本講演会等の周知にご協力をお願い申し上げます。

記

- 日時 平成 29 年 7 月 7 日(金) 18:00~20:30
- 場所 大阪府立大学 中百舌鳥キャンパス サイエンスホール(A12 棟)およびその周辺
- 内容 18:00~18:50

「南極から探る宇宙」

講師 関西学院大学 理工学部 教授 瀬田益道

19:00~19:50

「最新の観測で探る惑星大気のすがた」

講師 京都産業大学 理学系研究科 准教授 佐川英夫

20:00~20:30

観望会「月と土星のコラボレーション！」

光学望遠鏡を用いた土星の天体観測会(雨天中止)

シアター「宇宙の旅に出かけよう」

Mitaka(※1)を用いた 4 次元宇宙体験シアター

- 対象 どなたでもご参加いただけます
- 講演会定員 150 名(定員をこえた場合、会場への入場を制限する場合があります)
- 参加費 無料
- 申し込み 不要
- その他 駐車場はありませんので、お車での来場はご遠慮ください。  
詳細は別紙資料並びに下記 URL をご参照ください。

<http://www.astro.s.osakafu-u.ac.jp/news/2017/20170616.html>

(主催) 大阪府立大学 大学院理学系研究科 宇宙物理学研究室

大阪府立大学 宇宙科学技術研究センター

大阪府立大学 天文部

(共催) 日本天文学会、天文教育普及研究会

以上

全国同時七夕講演会 2017

【講演会詳細】

「南極から探る宇宙」

瀬田益道 関西学院大学 理工学部 教授

(時間 18:00～18:55)



南極大陸内陸部の高山地帯に、電波望遠鏡を設計する計画が、日本主導で進められています。この望遠鏡計画を、南極での調査の様子も交えて紹介します。

「最新の観測で探る惑星大気のすがた」

佐川英夫 京都産業大学 理学系研究科 准教授

(時間 19:00～19:55)



太陽系内のほぼ全ての惑星・衛星はその表面が気体(ガス)で覆われています。その存在量は(我々が日常的に「大気」と呼んでいる)数気圧に達するものから、地球大気の1000万分の1の気圧にしかならない「希薄大気」まで様々であり、また、そのガスの組成も $H_2$ ,  $He$  などから $CO_2$ ,  $N_2$ ,  $O_2$  などの多岐に渡ります。なぜこのような多種多様な惑星(衛星)表層環境が出来上がったのでしょうか？

今回の講演では、この問いに対する答えを考えながら最新の探査や観測から見えてきた太陽系天体の最新の「すがた」を紹介します。

※1 Mitaka :

国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクトで開発している、天文学の様々な観測データや理論的モデルを見るためのソフトウェア。地球から宇宙の大規模構造までを自由に移動して、宇宙の様々な構造や天体の位置を見ることが可能。

<参照>国立天文台 4次元デジタル宇宙プロジェクト ホームページ : <http://4d2u.nao.ac.jp>